

臨床心理学研究科 成績評価に関するガイドライン

- ① 本研究科では、評価基準に基づく厳正な成績評価を行い、5段階評定（A+, A, B, C, F）によって評価する。評価、評点、評価基準に関するガイドラインを以下のように定める。

合否	評価	評点	評価基準
合格	A+	90点以上	特に優れた成績を示した者
	A	80～89点	優れた成績を示した者
	B	70～79点	合格と十分認められる者
	C	60～69点	合格と認められる最低限度の成績を示した者
不合格	F	60点未満	合格と認めるに足る成績を示さなかった者

- ② 1. A+は受講者の上位20%までにつけることができ、A+とAの学生が、合計で40%以内の人数になるようにつける。
2. ただし、受講人数が10人に満たない講義・演習科目、総合的事例研究演習Ⅰ・Ⅱ、実習科目は1の限りではない。
3. 実習科目は、量的・質的両側面から合評にて評価され、詳細は、「実習オリエンテーション」にて説明される。

- ③ GP（Grade Point）及びGPA(Grade Point Average)を以下のように定める。

評価	GP
A+	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
F	0.0

GPAは、各科目のGPに各授業科目単位数を乗じ、その総和を履修登録科目総単位数で割って算出する。

$$\text{例) GPA} = \{ (\text{臨床心理学原論 GP} \times 2 \text{ 単位}) + (\text{臨床心理面接学原論 GP} \times 2 \text{ 単位}) + () \dots \} \\ \div \text{履修登録科目総単位数}$$

以上